

【事業提案競技】応募グループ名等について

1. 応募グループ代表者及び応募グループ名（受付順）

- (1) グループ名 ABILITY(アビリティ)11(ELEVEN(イレブン))グループ
代表者名 森ビル都市企画株式会社
- (2) グループ名 三井不動産・大成建設グループ
代表者名 三井不動産株式会社

2. 提案されている主な用途

提案されている主な用途（床利用）は次のとおりです。

- ・住宅
- ・商業

3. 今後の予定

- ・19年1月～2月 審査委員会による提案書の内容把握
- ・19年3月 審査委員会でのプレゼンテーションによる審査
最終審査、事業者の選定
- ・19年4月 事業者を決定、各グループの提案概要の公表

熊本駅周辺地域の進捗状況及び今後の予定

新合同庁舎整備計画

目的：副都心である熊本駅周辺地区への都市機能の集積

○敷地面積：2.5ha

整備スケジュール

平成16年度～：調査、設計等

平成19年度：A棟(28,000㎡)

工事着工予定

新幹線開業時にA棟竣工を目指す

(7官署 職員約1,100名)

その後B棟工事着工予定

(7官署 職員約700名)



【配置図(案)】

【A棟イメージ】



新合同庁舎入居官署

現在の第1合同庁舎の官署に、第2合同庁舎等の官署が加わり、計14官署が入居予定

【現在の第1合同庁舎の官署】

- ・九州財務局
- ・熊本国税局
- ・九州総合通信局
- ・熊本労働局
- ・九州農政局
- ・熊本西税務署
- ・熊本国税不服審判所
- ・九州管区行政評価局熊本行政評価事務所



【現在の第2合同庁舎の官署】

- ・九州地方整備局熊本営繕事務所
- ・長崎税関八代税関支署熊本出張所

【現在の単独官署】

- ・熊本地方気象台
- ・自衛隊熊本地方連絡部
- ・九州地方環境事務所
- ・熊本統計・情報センター

太字の官署がA棟入居官署

熊本駅周辺地域の進捗状況及び今後の予定

熊本駅新幹線駅舎工事

<これまでの状況>

- 平成16年度：県市駅舎デザインのコンセプト提示
- 平成18年度：新駅舎に望まれるデザイン要件の提示

<新幹線開業時までのスケジュール（予定）>

- 新幹線駅舎（熊本駅西側）
- 今年度：新幹線駅基本設計
- 平成19年度：実施設計
- 平成20年度：工事着手予定
- 平成22年度：駅舎工事の完成予定



熊本駅周辺地域の進捗状況及び今後の予定

市街地整備計画の策定



熊本駅周辺地域の進捗状況及び今後の予定

【先行して検討しているエリア(熊本駅新外線沿道及び熊本駅城山線沿道)】



建築物の用途の制限 具体的なルール項目(案)

住宅、工場・倉庫、風俗施設等の立地制限

容積率の最高限度・最低限度の設定

容積率の最高限度 500% 600%
容積率の最低限度 150%の設定

建ぺい率の最高限度の設定

敷地面積の最低限度の設定

敷地面積の最低限度 200㎡

壁面の位置の制限

熊本駅城山線・新外線からセットバック 2m

壁面後退区域の工作物の制限

セットバック空間での門・塀等の制限

形態・意匠の制限(建物・広告物)

- ・街路樹の緑と調和した建物の外壁
- ・原色をさげ、落ち着いた色調
- ・屋上工作物は直接目に触れないよう配慮

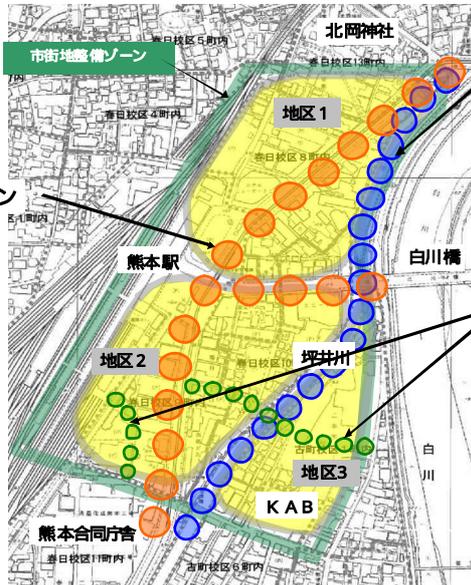
熊本駅周辺地域の進捗状況及び今後の予定

【今後の進め方】

まちなみ形成ゾーン

熊本駅新外線
熊本駅城山線沿道
地区整備計画案
全体説明
個別地権者調整

熊本駅北部線沿道



水辺の小径

地区整備方針案
全体説明

個別地権者調整
地区整備計画案策定

まちのみち

南A地区内の地区施設
地区整備方針案
全体説明
個別地権者調整

その他の地区施設
個別地権者調整
地区整備計画案策定